



# お茶の水女子大学学報

平成5年7月1日  
お茶の水女子大学庶務課

## 目次

- ◇関係法令 ..... 1
- ◇人 事 ..... 2
- ◇学内規則
  - お茶の水女子大学学則の一部を改正する学則 ..... 4
  - お茶の水女子大学入学者選抜方法研究委員会  
規程の一部を改正する規程 ..... 4
  - お茶の水女子大学附属図書館運営委員会規程  
の一部を改正する規程 ..... 4
- ◇学 事 ..... 5
  - 平成6年度お茶の水女子大学大学院人文科学  
研究科(修士課程)日本語文化専攻社会人  
学生募集要項 ..... 5
- ◇諸 報 ..... 13
  - 名誉教授の称号授与について ..... 13
  - 海外渡航 ..... 14
  - 研 修 ..... 14
- ◇日 誌 ..... 15

## 関係法令

### 【法 律】

○皇太子徳仁親王の結婚の儀が行われる日を休日とする法律(法律第32号、4月30日官報)

### 【政 令】

- 日本体育・学校健康センター法施行令の一部を改正する政令(政令第155号、4月23日官報)
- 勤労者財産形成促進法施行令の一部を改正する政令(政令第172号、5月19日官報)

### 【省 令】

- 日本体育・学校健康センター法施行規則の一部を改正する省令(文部省令第23号、4月23日官報)
- 大学入学資格検定規程等の一部を改正する省令(文部省令第24号、4月23日官報)
- 教科書の発行に関する臨時措置法施行規則の一部を改正する省令(文部省令第25号、4月30日官報)
- 著作権法施行規則の一部を改正する省令(文部省令第27号、5月14日官報)
- 国立学校における授業料その他の費用に関する省令の一部を改正する省令(文部省令第28号、6月1日官報)

### 【規 則】

- 人事院規則1-5(特別職)の一部を改正する人事院規則(人事院規則第1-5-6、4月23日官報)
- 人事院規則9-55(特地勤務手当等)の一部を改正する人事院規則(人事院規則第9-55-27、4月30日官報)

- 会計検査院事務局事務分掌及び分課規則の一部を改正する規則（人事院規則第2号、5月27日官報）
- 計算証明規則の一部を改正する規則（人事院規則第2号、5月27日官報）

## 【告 示】

- 著作権に関する講習会に関する件（文化庁告示第6号、4月30日官報）

## 人 事

## ◎常勤職員

発令年月日	氏 名	異 動 内 容	異 動 区 分	異動前の所属・官職
5. 5. 1	村 山 恵 子	庶務課附属学校係附属学校主任	昇 任	庶務課
"	羽 根 ひろの	学務課教務係教務主任	"	学務課
"	小 田 ひとみ	助手（大学院人間文化研究科）	配 置 換	助手（文教育学部）
"	松 田 弘	鹿児島大学医学部管理課第二用度係主任	転 任	会計課総務係総務主任
5. 5. 15	菊地原 里 美	任用更新 任期5. 7. 8まで	臨時的任用	（附属中学校教諭）
5. 5. 31	新 部 ツ ギ	辞職承認	退 職	保健管理センター
5. 6. 1	佐々木 信 一	休職期間更新 期間5. 6. 30まで	休 職	庶務課
5. 6. 9	前 田 理知子	育児休業承認 期間6. 4. 2まで	"	庶務課
5. 6. 16	清 本 正 人	助手（理学部）	採 用	
"	室 伏 きみ子	講師（理学部）	昇 任	助手（理学部）

## ◎非常勤講師

発令年月日	氏 名	異 動 内 容	期 間	備 考
5. 5. 1	及 川 恒 之	講師（理学部）	5. 5. 1～5. 9. 30	（財）佐々木研究所
"	武 部 豊	"	"	厚生省国立予防衛生研究所
"	大 武 信 之	"	"	筑波技術短期大学助手
5. 5. 6	蔵 元 由貴乃	講師（附属小学校）	5. 5. 6～5. 6. 8	
5. 5. 12	孫 英 玉	講師（文教育学部）	5. 5. 12～6. 3. 31	

## ◎非常勤職員

発令年月日	氏 名	異 動 内 容	期 間	備 考
5. 5. 1	宮之原 恵 子	事務補佐員（学生課）	5. 5. 1～6. 3. 31	
"	中 山 美由紀	教務補佐員（文教育学部）	"	
"	井 上 京 子	教務補佐員（理学部）	"	
"	西 村 美 加	教務補佐員（生活科学部）	"	

発令年月日	氏 名	異 動 内 容	期 間	備 考
5. 5. 1	伊 藤 公 恵	教務補佐員（生活科学部）	5. 5. 1～5. 9. 30	
”	有 末 伸 子	”	”	
”	青 木 雅 代	”	”	
”	川 北 恵 子	”	”	
”	游 珮 芸	”	5. 5. 1～6. 3. 31	
”	内 藤 友 美	”	”	
”	奥 田 都 子	”	”	
”	斉 藤 薫	”	”	
”	梅 谷 知 世	”	”	
5. 5. 17	木 田 郁 子	事務補佐員（生活科学部）	5. 5. 17～6. 3. 31	
”	布 谷 京 子	事務補佐員（附属幼稚園）	”	
5. 6. 1	小 竹 英 子	事務補佐員（学生課）	5. 6. 1～6. 3. 31	
”	南 部 みどり	”	”	
”	三 橋 麻 紀	”	”	
”	古 谷 恵 子	事務補佐員（入学主幹付）	”	
”	岡 本 雅 子	事務補佐員（文教育学部）	”	
”	渡 部 かなえ	”	5. 6. 1～5. 9. 30	
”	早 坂 文 子	教務補佐員（生活科学部）	5. 6. 1～6. 3. 31	
5. 6. 23	黄 仁 庸	事務補佐員（附属図書館）	5. 6. 23～6. 2. 28	
5. 6. 30	田 尾 陽 子	辞職承認		文教育学部
”	下 山 知 佳 子	”		女性文化研究センター

# 学 内 規 則

## ○平成5年お茶の水女子大学規則第24号

お茶の水女子大学学則の一部を改正する学則を次のとおり定める。

平成5年5月26日

お茶の水女子大学長 太田 次郎

お茶の水女子大学学則の一部を改正する学則

お茶の水女子大学学則（昭和24年5月31日制定）の一部を次のように改正する。

別表（第13条関係）中「学科」を「学科等」に改め、家政学部の項を次のように改める。

生活 科 学 部	生活環境学科	中学校教諭 一種免許状 高等学校教諭 一種免許状	家庭
	人間生活学科 家庭コース	中学校教諭 一種免許状 高等学校教諭 一種免許状	家庭
	小学校・幼稚園 コース	小学校教諭一種免許状 幼稚園教諭一種免許状	

### 附 則

- この学則は、平成5年5月26日から施行し、平成5年4月1日から適用する。
- この学則施行の際、現に家政学部に在学する者が取得することができる教員免許状の種類は、なお従前の例による。

## ○平成5年お茶の水女子大学規則第25号

お茶の水女子大学入学者選抜方法研究委員会規程の一部を改正する規程を次のとおり定める。

平成5年6月23日

お茶の水女子大学長 太田 次郎

お茶の水女子大学入学者選抜方法研究委員会規程の一部を改正する規程

お茶の水女子大学入学者選抜方法研究委員会規程（昭和57年9月29日制定）の一部を次のように改正する。

第3条第1項を次のように改める。

第3条 委員会は、次の各号に掲げる委員をもって組織する。

- 各学部から選出された教官各2人
- 学生部長
- カリキュラム委員会委員長

### 附 則

この学則は、平成5年6月23日から施行し、平成5年4月1日から適用する。

## ○平成5年お茶の水女子大学規則第26号

お茶の水女子大学附属図書館運営委員会規程の一部を改正する規程を次のとおり定める。

平成5年6月23日

お茶の水女子大学長 太田 次郎

お茶の水女子大学附属図書館運営委員会規程の一部を改正する規程

お茶の水女子大学附属図書館運営委員会規程（昭和29年2月3日制定）の一部を次のように改正する。

第2条を次のように改める。

第2条 委員会は、次の委員をもって組織する。

- 附属図書館長
- 各学部から選出された教官各2人
- 人間文化研究科から選出された教官1人
- 女性文化研究センターから選出された教官1人
- 生活環境研究センターから選出された教官1人
- カリキュラム委員会委員長

2 前項第2号、第3号、第4号及び第5号の委員は、学長が任命する。

### 附 則

この規程は、平成5年6月23日から施行し、平成5年6月1日から適用する。

# 学 事

## ○平成6年度お茶の水女子大学大学院人文科学研究科（修士課程） 日本語文化専攻社会人学生募集要項

平成6年度お茶の水女子大学大学院人文科学研究科（修士課程）日本語文化専攻の社会人学生を下記により募集する。

### 1. 専攻の趣旨及びその内容

日本語文化専攻は、言語と文化の有機的な結合と人文科学諸分野の学際性とを重視し、国際的に広い視野に立って、日本語教育に対する高度かつ多様な要望に応える日本語学・日本語教育学の研究者ならびに実践的日本語教員の養成と、日本語教育関係の在職社会人の再教育のコースである。

本専攻は、日本語文化学、日本語教育学の2講座を柱とし、日本文化史学、言語学、認知心理学の3講座がこれに協力する。

### 2. 募集人員及び対象 5名

上記専攻の趣旨により、次の学生を募集する。

大学卒業後2年以上の日本語教育の経験を有し、現在、日本語教育に携わる在職社会人で、日本語文化学・日本語教育学についてさらに高度の専門的能力を養おうとする者

### 3. 出願資格 下記該当の女子とする。

- (1) 大学を卒業した者
- (2) 外国において学校教育における16年の課程を修了した者
- (3) 文部大臣の指定した者（昭和28年文部省告示第5号）
- (4) その他本研究科において、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者

### 4. 出願手続

- (1) 入 学 願 書 用紙は本学で交付
- (2) 卒 業 証 明 書
- (3) 推 薦 書 指導教官又は主任教官、所属長等により作成されたもの(形式随意)
- (4) 調 査 書 用紙は本学で交付
- (5) 研究報告・計画書 大学における卒業論文・卒業研究の内容及び将来の研究計画を3,000字以内にまとめたもの（用紙は本学で交付）

- (6) 職務内容報告書 日本語教育機関における職務の内容を1,000字以内にまとめたもの  
(用紙は本学で交付)
- (7) 健康診断書 用紙は本学で交付
- (8) 写真 正面上半身(5cm×4cm)で、出願3か月以内に撮影したもの3枚。  
願書の指定欄に貼付。
- (9) 返信用封筒 郵送の場合に限り、あて先を表記し、272円切手を貼付。
- (10) 受験承諾書 在職中の者は所属長の「受験承諾書」、非常勤の場合は「在職証明書」
- (11) 検定料 26,000円

上記書類等を一括し、所定の期日までに本学に提出のこと。ただし、郵送するときは書留速達郵便とし、検定料は郵便為替で、受取人欄に「お茶の水女子大学」と明記し、封筒に「大学院人文科学研究科入学願書」と朱書すること。

### 5. 出願期間・願書受付場所

- (1) 出願期間 { 平成5年9月27日(月)から平成5年10月1日(金)  
午前9時～11時30分 午後1時～3時  
なお、郵送の場合は、10月1日(金)以前の消印のあるものに限り、期間後に到着した場合でも受理する。
- (2) 受付場所 本学文教育学部事務部  
〒112 東京都文京区大塚2丁目1番1号  
(地下鉄丸ノ内線茗荷谷駅、有楽町線護国寺駅又は都バス大塚二丁目下車)

### 6. 選抜方法

入学者の選抜は、筆記試験、口述試験の結果及び調査書、研究報告・計画書、職務内容報告書、健康診断書等を総合して行う。

- (1) 選考期日 平成5年10月12日(火)～10月14日(木)
- (2) 筆記試験・口述試験時間割

以下の日程で専門科目に関する試験を行う。

10月12日(火)		10月13日(水)・14日(木)
筆 記 試 験		口 述 試 験 (注2) (10:00～ )
外国語(注1) (英・独・仏・中国語)の中 から1か国語を選択する。 (10:00～11:30)	日本文化学 日本語教育法 (13:00～15:00)	

(注1) 上記の選択科目(外国語)については、出願の際届け出るものとする。

(注2) 口述試験は、主として研究報告・計画書、職務内容報告書にもとづいて行う。

- (3) 試験場所 お茶の水女子大学(東京都文京区大塚2丁目1番1号)

**7. 入学料及び授業料**

入学料 260,000円 授業料(年額) 411,600円

前期分	205,800円
後期分	205,800円

**8. 合格者発表**

平成5年10月21日(木)12時頃、文教育学部掲示板に氏名を掲示する。

合格通知書は、文教育学部事務部で受験票を確認のうえ交付する。なお、都合により当日、来学できない合格者には、後日合格通知書を郵送する。

入学手続関係書類は、平成6年2月中旬に送付する。

※合格者が募集人員に満たない場合には第2次募集を行うことがある。

**9. 注意事項**

- (1) 出願書類等の郵送を希望する者は、175円切手を貼った返信用封筒角型2号に宛先を表記したものを同封し、封筒の表に「人文科学研究科出願書類請求」と朱書きして本学「文教育学部事務部」へ請求すること。
- (2) 出願手続後は、書類の変更及び検定料の払い戻しは行わない。
- (3) 合格、不合格に関する問い合わせには一切応じない。
- (4) 「外国人留学生」に関しては、出願書類等が異なるため、本学「学生部学務課留学生係」が取り扱うので、同係に問い合わせること。

## お茶の水女子大学大学院人文科学研究科修士課程概要

### 1. 目的及び使命

本学大学院は本学の目的、使命に則り、学術の理論及び応用を教授研究し、その深奥を究めて、文化の進展に寄与することを目的とする。

### 2. 修業年限        2年

### 3. 専攻及び入学定員

人文科学研究科に次の専攻を置き、入学定員は次のとおりとする。

専攻名	入学定員	収容定員	専攻名	入学定員	収容定員
哲学専攻	8	16	英文学専攻	7	14
史学専攻	7	14	教育学専攻	11	22
地理学専攻	6	12	舞踊教育学専攻	10	20
日本文学専攻	6	12	日本語文化専攻	12	24
中国文学専攻	3	6	計	70	140

### 4. 授業科目履修方法及び課程の修了

(1) 学生は2年以上在学し、それぞれの専攻の授業科目について30単位以上履修しなければならない。

ただし、研究指導を担当する教官が当該学生の研究上特に必要と認めた場合に限り、他の専攻、他研究科又は学部の授業科目を指定して履修させ、これを当該専攻の単位とすることができる。

(2) 課程の修了には、2年以上在学し、所要の単位を修得し、かつ学位論文を提出して最終試験に合格しなければならない。

### 5. 学位授与

本研究科において、課程を修了した者に対しては、修士（人文科学）の学位を授与する。



## 6. 主要授業科目・担当教官

専攻	授業科目	担当教官
哲学専攻	哲学特論・演習	教授 土屋賢二 助教 羽入佐和子
	倫理学特論・演習	教授 尾田幸雄 助教 高島元洋子
	美学特論・演習	教授 高辻保子 助教 秋山光文
	社会学特論・演習	教授 秋宮山島 助教 (未定)
史学専攻	日本史学特論・演習	教授 大田勇次郎 助教 安小風次郎 助教 (未定)
	東洋史学特論・演習	教授 窪添慶文 助教 三浦秀徹 教授 山本行躬 講師 遅塚由紀夫
	西洋史学特論・演習	教授 新井
地理学専攻	人文地理学特論・演習	教授 千歳壽一 助教 栗原尚兵衛 助教 田宮隆夫 助教 杉谷博圭 助教 内藤圭
	自然地理学特論・演習	
	地誌学特論・演習	
日本文学専攻	上古中古文学特論・演習	教授 平野由紀子 助教 岩崎千鶴 助教 三木紀人生 助教 市古井清 助教 浅大塚常樹 助教 大鈴木泰啓 助教 古田
	中世近世文学特論・演習	
	近代文学特論・演習	
	国語学特論・演習	
中国文学専攻	中国文学特論・演習	教授 佐藤藤正保樹子 助教 宮尾山原和 助教 藤相原茂
	中国語学特論・演習	
英文学専攻	英文学特論・演習	教授 野島秀勝 助教 内田正雅 助教 酒本雅静 助教 海老根幸道 助教 宮西尾子 助教 今西典子
	米文学特論・演習	
	英語学特論・演習	

専攻		授 業 科 目	担 当 教 官
教 育 学 専 攻	教 育 学	教育学特論・演習 教育史特論・演習 教育社会学特論・演習 教育行政学特論・演習 教育方法学特論・演習 教育経営学特論・演習 社会教育学特論・演習 博物館学特論・演習 文化人類学特論・演習	教授 上野浩道 (未定) 助教授 塚寛明 森隆夫 教授 宮原修 (未定) 教授 小川剛 助教授 鷹野光 教授 田中真砂子
	心理学	教育心理学特論 I・II 社会心理学特論 I・II 臨床心理学特論 I・II 発達心理学特論 I・II 認知心理学特論 I・II	助教授 内藤俊史 助教授 坂元章 教授 春日喬 教授 内田伸子 助教授 石口彰
舞 踊 教 育 学 専 攻	無 踊	舞踊教育学特論・演習 舞踊方法論・特論 遊戯学特論・演習 舞踊美学特論・演習 動作学特論・演習	教授 片岡康子 助教授 本田郁子 教授 加賀秀夫 教授 石黒節子 教授 森下はるみ
	音 楽	音楽学特論・演習 演奏学特論・演習	教授 徳丸吉彦 (未定) 助教授 遠藤秀一郎 林廣子
日 本 言 語 文 化 専 攻	日 本 言 語 文 化 学 特 論 ・ 演 習 外 国 文 化 論 日 本 語 教 育 方 法 論 日 本 語 指 導 法 演 習 日 本 語 音 声 表 現 演 習 日 本 文 化 史 学 特 論 対 照 言 語 学 特 論 ・ 演 習 言 語 心 理 学 特 論	教授 三木紀人 助教授 西澤奈津子 教授 湊和夫 教授 水谷信子 助教授 長友和彦 助教授 平田悦朗 教授 大海勇次郎 助教授 老根静江 教授 中内村俊直 教授 田伸子	
関 連 科 目	独 文 学 特 論 ・ 演 習 仏 文 学 特 論 ・ 演 習	教授 石丸昭二 教授 石川宏子 教授 石中村弓	

## 日本語文化専攻概要

### 1. 日本語文化専攻設置の趣旨

日本語文化専攻は、最近の国際社会における日本への関心の高まりとともに、ますます多様化し高度化しつつある日本語および日本文化の学習に対するつよい要望に応えるべく、国際的、学際的研究理念に立って、学部において種々の専門を修得した幅広い学生を受け入れ、広汎な分野で活躍しうる研究者・実務者を養成することを目的とする独立専攻である。

昭和61年度以降、我が国の国公・私立大学において、学部レベルの日本語教育関係の学科・専攻の整備・拡充が急速に進められてきたが、学部レベルの教育だけでは昨今の多様化し高度化しつつある日本語学習者の要望に十分応えることはむずかしく、かつまた、資格の点でも大学その他の日本語教育機関にポストを得ることは容易でない。そのために、より高度の専門的かつ指導的な日本語教員を養成する大学院修士課程以上の日本語教育関係の専攻の整備が社会的に求められている。

このような国際的、社会的要請に応えるために、本専攻は、日本語とその背景にある日本文化の伝統との密接な関連を重視した学際的な日本語文化の考究を通じて、より高度の専門指導者・研究者、並びに実践的日本語教員を養成するとともに、在職日本語教員の再教育を行うことを目的として設置する。

なお、現職日本語教員等社会人の受け入れにあたっては、授業の一部を夜間その他特定の時間又は時期に開講して、修学の利便をはかる。

### 2. 授業科目

#### 日本語文化学講座

日本語学特論	選択必修	日本語学演習	選択必修
日本語文化学特論 I	選択必修	日本語文化学特論 II	選択必修
日本語文化学演習 I	選択必修	日本語文化学演習 II	選択必修
比較文化学特論	選択	外国文化論	選択

#### 日本語教育学講座

日本語教育学特論	選択必修	日本語教育方法論	選択必修
日本語指導法演習 I	選択必修	日本語指導法演習 II	選択必修
日本語音声表現特論	選択必修	日本語音声表現演習	選択必修
日本語文章表現演習	選択必修	言語哲学特論	選択
言語分析学演習	選択		

### 日本文化史学講座

日本文化史学特論 選択

### 言語学講座

対照言語学特論 選択 対照言語学演習 選択

### 認知心理学講座

言語心理学特論 選択

特別研究 必修

※単位数は、特別研究が6単位であるほかは、他の科目はすべて4単位である。

## 3. 履修方法

本専攻は独立専攻であり、学生は学部において履修した専門が種々多様であるため、入学後に学生個別の状況をふまえて個々の履修科目の指導を行う。

## 日本言語文化専攻社会人学生について

### 1. 日本語教育の経歴等について

本専攻が対象とする在職社会人は、公的、私的とを問わず、各種の日本語教育機関で常勤又は非常勤で日本語教育に従事している者をいう。

「2年以上の日本語教育の経験」とは、上記の各種日本語教育機関で常勤又は非常勤の従事者としての2年以上であり、非常勤の特殊な勤務形態(たとえば、短期集中授業の講師等)として、通算して2年以上に達する場合も認められる。

在職社会人受験者は、職務内容報告書を提出すると同時に、「入学願書」の「履歴事項」職歴欄を特に詳しく記入すること。記入欄に書ききれない場合には別紙に記入してもよい。

### 2. 履修形態

社会人学生の履修形態は、第1年次は、職場を離れ通常開講される授業及び研究指導を受け、第2年次については、職場に復帰し、定期的又は集中的に通学し、平日の夜間等に開講する授業及び研究指導を受けることができる。

夜間の開講については、火曜日と木曜日に、それぞれ17:20~18:50 19:10~20:40の2時限を開講している。

# 諸 報

## ○名誉教授の称号授与について

下記の方に本学名誉教授の称号が授与されました。

(授与年月日)	(氏 名)	(元官職)
5. 4. 21	新 関 滋 也	理 学 部 教 授
5. 4. 21	奥 野 剛	保健管理センター教授



## ○海外渡航

所属・職名	氏名	渡航先国	渡航目的	期間	渡航種目
生活科学部・教授	本間清一	フランス共和国	国際コーヒー科学コロキウム研究発表及び討論	5. 6. 5～ 5. 6. 17	外国出張
理学部・助教授	長嶋雲兵	フランス共和国	消化管における水及び電解質輸送の制御機構に関する研究	5. 6. 11～ 5. 6. 22	外国出張
理学部・教授	平野恒夫	アメリカ合衆国	第48会オハイオ州立大学国際分子光学シンポジウムにおける研究発表並びに量子化学に関する研究調査	5. 6. 11～ 5. 6. 27	外国出張
理学部・教授	渡辺ヒサ子	中華人民共和国	解析学に関する国際会議出席	5. 5. 17～ 5. 5. 24	海外研修
理学部・助教授	芦原坦	連合王国 フランス共和国	英国グラスゴー大学におけるプリナルカロイドの生成に関する研究及び国際学会出席	5. 5. 14～ 5. 6. 22	海外研修
文教育学部・助教授	小風秀雅	中華人民共和国	戦前期・日中外交関係資料の調査収集及び聞き取り調査	5. 5. 12～ 5. 5. 23	海外研修
理学部・教授	細矢治夫	アメリカ合衆国	第5回国際数理計算化学会議出席発表	5. 5. 16～ 5. 5. 23	海外研修
生活科学部・助教授	篠塚英子	デンマーク王国 スウェーデン王国	北欧の福祉サービスの先進事例の制度・施策の調査研究	5. 5. 8～ 5. 5. 19	海外研修
生活科学部・教授	板倉壽郎	アメリカ合衆国	マサチューセッツ工科大学 CENTER FOR ADVANCED VISUAL STUDIES 創立25周年記念行事におけるパネル・プレゼンター	5. 6. 8～ 5. 6. 20	海外研修
文教育学部・教授	小川剛	中華人民共和国	成人教育国際シンポジウム参加及び資料収集	5. 6. 5～ 5. 6. 13	海外研修
文教育学部・教授	宮島喬	オランダ王国 フランス共和国	民族と国家研究の現地調査（オランダとフランスにおける移民と移民政策の調査）	5. 6. 17～ 5. 6. 28	海外研修
理学部・教授	細矢治夫	クロアチア共和国 スペイン	1. 数学・化学・計算機・科学境界領域にまたがる第8回国際会議 2. 第1回理論化学物理国際会議	5. 6. 20～ 5. 7. 4 (帰国予定)	海外研修

## ○研 修

名 称	実施日時	対 象 者	終 了 者	主 催
平成5年度関東地区 接遇研修	平成5年5月25日 ～5月27日	国家公務員採用II種試験に合格し採用された職員（新採用職員を除く）で年齢30歳未満の者のうち各機関が推薦する者	入学主幹付入学試験係員 林 伸早	人 事 院

日	誌
---	---

## ◇諸 会 議

- |   |   |
|---|---|
| <p>4月20日(火) 部局長会議、国際交流委員会、女性文化研究センター運営委員会</p> <p>21日(水) 評議会、研究科会議、附属学校委員会、附属学校教育研究委員会</p> <p>22日(木) 実験設備委員会、附属図書館運営委員会、関プロ国立学校等会計部課長会議(於・伊香保 23日まで)</p> <p>23日(金) 公開講座委員会、教育実習専門委員会、国立大学図書館協議会東京地区連絡会(於・東京芸大)、東京地区大学入試センター試験入試担当課長会議(於・昭和女子大学)</p> <p>26日(月) 理学部計画委員会</p> <p>27日(火) 入学者選抜方法研究委員会</p> <p>28日(水) 学芸員課程委員会</p> <p>5月10日(月) 事務連絡会議、国有財産事務担当者連絡会議(於・合同庁舎)</p> <p>11日(火) 部局長会議、国際交流基金理事会</p> <p>12日(水) 将来構想検討委員会、実験設備委員会</p> <p>14日(金) 公開講座委員会</p> <p>17日(月) 国際交流委員会留学生専門委員会、学生委員会評価改善専門委員会</p> <p>18日(火) 部局長会議、主任会議(3学部)、国立大学事務局局長会議(於・学士会館)</p> <p>19日(水) 教授会(3学部)、関プロ入学者選抜研究連絡協議会(於・山梨大学)</p> <p>24日(月) 生和会評議会・理事会</p> <p>25日(火) 部局長会議、国際交流委員会予算委員会、生活環境研究センター運営委員会、国立大学学生部次課長会議(於・医科歯科大学)</p> <p>26日(水) 評議会、研究科会議、入学者選抜方法研究委員会、附属学校教育研究委員会、共済組合主幹課長会議(於・東京大学)</p> | <p>5月27日(木) 国立学校経理部課長会議(於・医科歯科大学 28日まで)、7大学理学部課長会議(於・神戸大学 28日まで)</p> <p>28日(金) 公開講座委員会、理学部自己点検・評価検討小委員会</p> <p>31日(月) 東京地区国公立大学体育大会委員会(於・農工大学)、入学者選抜・教務関係事項連絡協議会(於・虎の門ホール)</p> <p>6月1日(火) 部局長会議、国際交流基金理事会、主任会議(3学部)、施設担当部課長会議(於・医科歯科大学 2日まで)</p> <p>2日(水) 教授会(3学部)</p> <p>3日(木) 国立学校及び施設等機関等庶務部課長会議(於・医科歯科大学 4日まで)、国立大学入学者選抜研究連絡協議会(於・教育会館)</p> <p>4日(金) 国立大学国際交流担当課長等会議(於・医科歯科大学)</p> <p>7日(月) 実験設備委員会</p> <p>8日(火) 国立大学附属図書館部課長会議(於・医科歯科大学)</p> <p>11日(金) 臨時部局長会議</p> <p>15日(火) 附属学校委員会、国立大学協会総会(於・学士会館 16日まで)、国立大学一般教育担当部局協議会(於・奈良女子大学 16日まで)</p> <p>16日(水) 将来構想検討委員会、リフレッシュ教育担当課長会議(於・医科歯科大学)</p> <p>17日(木) 事務連絡会議、国立大学長会議(於・学士会館)</p> <p>18日(金) 国立大学協会事務連絡会議(於・学士会館)</p> |
|---|---|

## ◇行事等

- |          |  |          |                                      |
|----------|--|----------|--------------------------------------|
| 4月20日(火) | 人事院主催関東地区新採用職員研修<br>(23日まで)                        | 5月25日(火) | 共済組合標準報酬・給付請求手続説明会                   |
| 21日(水)   | 教育実習オリエンテーション                                      | 26日(水)   | 教育実習説明会                              |
| 23日(金)   | 厚生補導事業費ヒヤリング(於・文<br>部省)、教育実習説明会                    | 29日(土)   | 日本教育大学協会附属学校連絡協議<br>会・全国国立大学附属学校連盟総会 |
| 28日(水)   | 平成6年度概算要求事務局ヒヤリン<br>グ、教育実習説明会、就職説明会、<br>平成4年度決算報告会 | 31日(月)   | 新入生セミナー説明会、事業系廃棄<br>物に関する立入調査(清掃局)   |
| 30日(金)   | 平成6年度概算要求事務局ヒヤリン<br>グ                              | 6月1日(火)  | 学生定期健康診断(4日まで)                       |
| 5月10日(月) | 名誉教授称号授与式、名誉教授懇談<br>会                              | 15日(火)   | 関東地区係長研修(於・人事院 24<br>日まで)            |
|          |  | 21日(月)   | 国立大学等国際交流担当職員研修<br>(於・オリセン 24日まで)    |